



<公演企画のご案内>



静岡発のオリジナル舞台作品を！



「ラウドヒル計画」の基本的な作品制作コンセプトは「誰でも気軽に楽しめること」、そして、「観るとちょっぴり元気が出ること」です。

また、スピンオフ作品の多くは、県内の学校等へ出張公演や、規模の小さな公共ホール等でも上演可能となるよう出演者の数も舞台装置をコンパクトに抑えた設定が特徴です。

将来は、「静岡で生まれたオリジナル作品を、静岡の皆で楽しみ、感動を共有する」といった営みが日常化していくことを期待しています。

静岡の歴史と文化を見つめなおす。

精鋭演劇集団「エイトビート」を中心とした以下3作品は、いずれも高い完成度を誇るとともに、学校公演を意識した作品です。

今回ご案内する『BIRDMEN』と『Five Star』は、特攻を拒否したことで知られる「芙蓉部隊」、核廃絶運動のきっかけとなった「第五福竜丸事件」をテーマとしており、『Kiss of Life』は、高校生にとって身近な存在になった「選挙」を題材にして、現在の若者たちが自らの日常を見直し、考える機会となることを意図しています。



本格的な舞台作品を低価格で。



学校の芸術鑑賞教室を計画されるとき、どうしても価格は大きな検討要素となります。

「ラウドヒル計画」は市民参加型プロジェクトということもあり、これまでは作品づくりと完成度の向上を徹底して行っていたため、主に静岡市を中心に展開してきましたが、様々な工夫や出演者の成熟により、高い完成度をもった本格的な舞台作品を、価格を押さえて実施することが可能となりました。

何卒、ラウドヒル計画の公演を自主事業又は学校公演で取り上げていただき、舞台芸術の素晴らしさを多くの方にご紹介する機会を頂けますよう、お願い申し上げます。



「ラウドヒル計画」は静岡市民文化会館を拠点に、静岡の人々による完全オリジナル舞台作品を継続的に創作・発信する長期プロジェクトです。

これまで清水エスパルス、徳川家康、竹取物語など、静岡に強くこだわったテーマで、意欲的な舞台作品を制作上演して、地方発の文化創造を推進してきました。

2013年に制作上演した、清水エスパルス公式ダンスミュージカルである『GO! ALL』を皮切りに、市民50人以上が参加する大型作品を5作品、市民参加者の精鋭メンバーによるスピンオフ作品を7作品、ダンス作品を1作品を制作し、初演・再演を含め全21公演を上演しています。

さらに、2018年度からは障害のある方も含むチームでダンスの短編作品を発表するなど、バリアフリー型の文化活動にも取り組んでいます。

静かな岡「サイレントヒル」を、人々が集い、熱意あふれる、賑やかな岡「ラウドヒル」にしてゆくことを目指し、精力的な挑戦を続けています。



費用等については、静岡市民文化会館までお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

静岡市民文化会館（担当：星野、岩科）

TEL 054-251-3751 / メール info@scch.shizuoka-city.or.jp

精鋭演劇集団「エイトビート」



市民参画による舞台制作プロジェクト「ラウドヒル計画」。

当初より 50 人以上が出演する大規模公演を行ってきましたが、2017 年度から少人数で一層高い完成度を目指す企画を始動させました。

そのために、市民参加者の中から選抜され、結成されたのが、静岡出身の男性 8 人で構成する精鋭演劇集団「エイトビート」です。

仕事や学業の傍ら、熱意溢れる稽古を経て、2016 年 7 月に旗揚げ公演となる『スターダストメモリー』を大好評のうちに成功させることができました。

その後も新作公演と再演公演を重ねており、完成度の高さから、観覧者アンケートで非常に高い評価を獲得しています。

【過去の公演】	満足度
2016 年 7 月『スターダストメモリー』	94.6%
2017 年 5 月『スターダストメモリー』	97.3%
2017 年 12 月『BIRDMEN』	95.7%
2019 年 3 月『BIRDMEN』	93.1%
2020 年 10 月『Five Star』	94.4%
2021 年 3 月『Five Star』	94.1%
2021 年 11 月『BIRDMEN』（一般）	98.9%
2021 年 11 月『BIRDMEN』（高校）	95.8%
2022 年 3 月『Kiss of Life』	96.8%
（全公演平均）	95.6%

女性演劇集団「ハイポジション」



静岡に住む、演劇女子。

その持てあますほどの情熱とパワーを発揮できる場所をつくろう。

そんな思いから、ラウドヒル計画初の女性演劇集団「ハイポジション」が誕生しました。

はじめは演技力を向上させるためのワークショップとして発足し、20名以上の静岡在住の女性が参加しています。

2017年12月に第1回公演『No Woman No Cry』が上演され、絶賛を博しました。

以降も、定期的なワークショップと稽古を重ね、大型公演に参加するほか、2019年1月には、静岡市が推進するSDG'sの啓発イベントにも出演するなど、日々、演技力を高めています。

※各公演の出演者は、日程により選抜いたします。

【過去の公演】	満足度
2017年12月『No Woman No Cry』	97.1%
2019年3月『Shine a Light』	94.7%
2019年11月『Shine a Light』	95.0%
2022年3月『Kiss of Life』	96.8%
(全公演平均)	95.9%

総監督・プロデューサー



勝山康晴（かつやまやすはる）

ROCKSTAR有限会社代表取締役。ダンス集団「コンドルズ」プロデューサーとして、2016年9月にはNHKホール公演を即日完売超満員＋追加公演に。世界30カ国以上で公演。静岡市文化会館の舞台制作では初回作品「GO!!ALL」から総監督・プロデューサーに就任。誰もが楽しめる総合エンターテインメントとしての舞台づくりを一貫して指揮。現在、ロックバンド「FF0000」で作詞作曲、ボーカルを担当。アニメ漫画通。早稲田大学社会学部卒。藤枝市出身。

演出



河田園子（かわだそのこ）

演出家。玉川大学文学部英米文学科を卒業後、財団法人現代演劇協会（劇団昴）を経て演劇企画JOKOメンバーに。演劇学校、声優学校等の講師を務める傍ら、地方での演劇制作、ワークショップ等の取り組みに幅広く参画してきた。静岡市民文化会館では、勝山氏と同じく初回作品「GO!!ALL」から一貫して演出を担当。伊東市宇佐美出身。

【これまでの制作・上演実績】

- 2013 7月 エスパルスオフィシャルダンスミュージカル『GO!! ALL』
- 2014 9月 エスパルスオフィシャルダンスミュージカル『GO!! ALL』（再演）
- 2015 3月 『STAND UP! シズオカ独立宣言 家康再起動』
9月 『STAND UP! シズオカ独立宣言 家康再起動』（再演）
- 2016 7月 エイトビート『スターダストメモリー』
- 2017 3月 『Action! ～シズオカ新撰組血風録～』
5月 エイトビート『スターダストメモリー』（再演）
12月 エイトビート『BIRDMEN』
ハイポジション『NoWoman NoCry』
- 2018 3月 『Fly me to the Moon タケトリストーリー』（ダンス作品）
11月 『BEAT IT!! ～新今川物語 2018～』
- 2019 1月 障害者ダンスチーム・ハンドルズ『君とならなんか変われる気がするの』
3月 エイトビート『BIRDMEN』（再演）
3月 ハイポジション『Shine a Light』
5月 『BEAT IT!! ～新今川物語 2019～』（再演）
10月 エイトビート『Five Star』
11月 ハイポジション『Shine a Light』（再演）
- 2020 3月 エイトビート『Five Star』（再演）※新型コロナウイルスの影響により中止
10月 エイトビート『BIRDMEN』（再演）※新型コロナウイルスの影響により中止
- 2021 3月 エイトビート『Five Star』（再演）
10月 『FLASH! アベハナネヴァーエンド』
11月 エイトビート『BIRDMEN』（再演）※静岡県立科学技術高等学校芸術鑑賞教室
- 2022 3月 ハイポジション×エイトビート『Kiss of Life』
- 2022 7月 『FLASH! アベハナネヴァーエンド』（再演）
9月 エイトビート『Five Star』（再演）※焼津文化会館共催公演
エイトビート『Five Star』（再演）※静岡県立焼津水産高等学校芸術鑑賞教室

計 13 作品（24 公演）

【今後の上演予定】

- 2023 10月 NHK 大河ドラマ「どうする家康」関連事業として大型公演を実施予定

公演企画 No.1：エイトビート『BIRDMEN』



ー 現在、過去、未来をつなぐ信念の物語

2つの時代の物語。

1つは第二次世界大戦中。敗戦色が濃くなった日本。静岡に、昼夜逆転生活を送る、異彩を放つ航空隊があった。若きカリスマ、美濃部正少佐が率いる航空隊、その名は「芙蓉部隊」。

基地から望む富士山にちなみ名付けられたこの芙蓉部隊には美濃部の指揮の下、夜間攻撃に特化した訓練を続ける兵士たちがいた。

そしてもう1つは現代。静岡にあるゲーム制作会社。携帯ゲームの下請け業務で何とか経営を続ける零細企業だったが、たまたま出した企画が通ってしまい、大手一流メーカーの一大プロジェクトを任されるはめに。

社員たちは七転八倒しながらゲーム開発に乗り出してゆく。

2つの静岡、時代の違う静岡が、クロス、シンクロしてゆく時、人が抱くべき信念のカタチが明らかになってゆく。

STAFF

〔総監督・プロデューサー〕 勝山康晴

〔演出〕 河田園子

〔演出助手〕 岡 康史

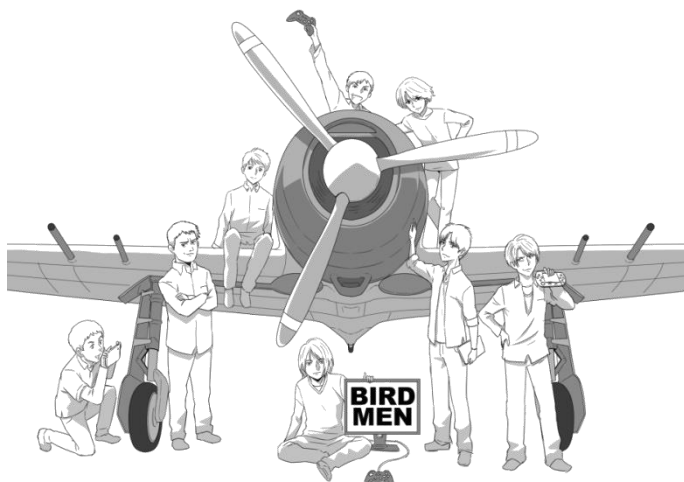
〔脚本〕 大野裕明

〔振付・ダンス指導〕 スズキ拓朗

〔映像〕 奈良岡将英 富田晶子

〔イメージイラスト〕 yazwo

〔宣伝美術〕 柳沼博雅



【企画制作】 静岡市民文化会館（指定管理者 静岡市文化振興財団共同事業体）

【企画協力】 ROCKSTAR 有限会社

(過去の公演写真)



今日、私たちは飛び立ちます。
この静かな岡の未来に、ひとつでも多くの、
笑顔が輝くことを夢見て…



公演企画 No.2 : エイトビート『Five Star』



ー 未来に届ける約束の物語

作品の舞台は、翌日にオープンを控えた大崩海岸のレストラン。

どしゃ降りの雨の夜に开店準備を急ぐなか、謎の訪問者が訪れ、図らずも「第五福竜丸事件」が残した“問い”へと導かれてゆく。

海へ開けた大眺望に明らむ東の空は、どんな夜明けを暗示するのか！？

世界レベルの静岡戦後史「第五福竜丸事件」の残した“問い”とは？

果たして、男たちは無事にレストランをオープンに導けるのか？

ラストに展開される、男たちが未来に届ける“約束”とは！？

STAFF

〔総監督・プロデューサー〕 勝山康晴

〔演出〕 河田園子

〔演出助手〕 岡 康史

〔脚本〕 大野裕明

〔振付・ダンス指導〕 スズキ拓朗

〔映像〕 富田晶子 奈良岡将英

〔イメージイラスト〕 yazwo

〔パペットデザイン〕 大高 彩

〔宣伝美術〕 柳沼博雅



【企画制作】 静岡市民文化会館（指定管理者 静岡市文化振興財団共同事業体）

【企画協力】 ROCKSTAR 有限会社

【協力】 公益財団法人第五福竜丸平和協会
ディスカバリーパーク焼津天文科学館
コンドルズ

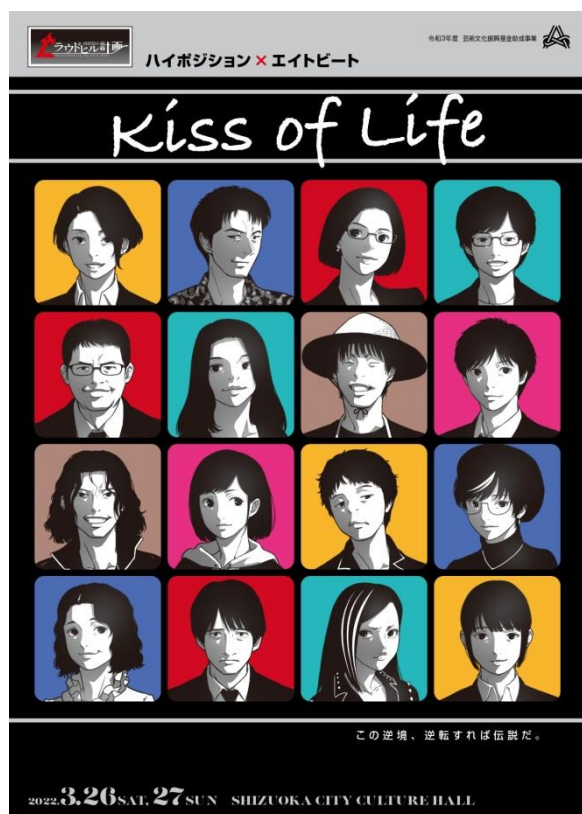
(過去の公演写真)



本当はこの星の誰もがわかっています。
本当はこの星の誰もが夢見ています。
太陽はひとつがいい。



公演企画 No.3：ハイポジション×エイトビート『Kiss of Life』



ー 大逆転の物語を君に！

シズオカのとある小さな田舎町は大混乱。

1週間後に迫った町長選挙に、前町長の長男・四元ケンイチと新人・望月アカリが立候補し、激しい選挙戦となっていた。

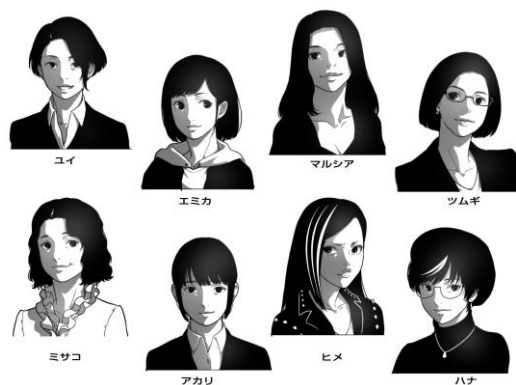
女性で固めた望月陣営の斬新な選挙運動の前に、圧勝を見込んでいた男性ばかりの四元陣営は想定外の大苦戦。

とはいえ、決定打を欠く望月陣営。逆転、再逆転を狙った荒技、禁じ手何でもありの選挙戦、すったもんだの7デイズウォー。

投票日まであと1週間。果たして桜はどちらの頭上に咲くのか？！

STAFF

[総監督・プロデューサー] 勝山康晴
[演出] 河田園子
[演出助手] 岡 康史 森 陽菜 山本彩莉
[脚本] 大野裕明×勝山康晴
[振付・ダンス指導] スズキ拓朗
[映像] 富田晶子 奈良岡将英
[イメージイラスト] yazwo
[宣伝美術] 柳沼博雅



【企画制作】 ROCKSTAR有限会社
【企画協力】 静岡市民文化会館（指定管理者 静岡市文化振興財団共同事業体）

(過去の公演写真)



美しい自然を愛し、文化の向上に努め、
人と人の繋がりを大切にした、
調和と笑顔溢れる町を創り上げてゆきます。

